



客船「飛鳥Ⅱ」文楽クルーズ開催決定

公益財団法人文楽協会と郵船クルーズ株式会社 コラボレーション企画

郵船クルーズ株式会社(所在地:横浜市西区、代表取締役社長:服部 浩)が運航する日本最大のクルーズ客船「飛鳥Ⅱ」(50,142トン)は、『文楽クルーズ』の実施を発表いたします。

公益財団法人文楽協会の協力のもと、日本の伝統芸能‘人形浄瑠璃・文楽’の世界に触れられるクルーズが、飛鳥Ⅱで初めて開催されます。文楽とは、日本の伝統的な人形劇で語りの太夫、演奏の三味線、演じる人形の3つが一体となった総合芸術で、ユネスコ・無形文化遺産に登録されています。

飛鳥Ⅱ 船上にて、「日高川入相花王(ひだかがわいりあいざくら)・渡し場の段」と「ひらかな盛衰記(ひらがなせいすいき)・逆櫓(さかむら)の段」を公演。人形遣い・二代目吉田玉男師を始め、総勢14人の演じ手が乗船します。ほかにも、初心者の方でもお楽しみいただけるよう、文楽講座や写真展示なども予定しています。‘文楽’の世界に触れられるイベントが楽しめるプレミアムクルーズです。

本クルーズの販売開始は2016年3月4日(金)です。

■『文楽クルーズ』概要

- 日程 : 2016年12月20日(火)～22日(木) 横浜港大さん橋発着 2泊3日無寄港
- 旅行代金(予定) : 10.1万円～47.9万円(2名1室利用の場合のお1人様分の代金)
- 最大乗客数 : 872名
- 船内イベント(予定) : 文楽公演、文楽講座、写真展示など



(飛鳥Ⅱ)



(二代目吉田玉男師)

©Hajime Watanabe

飛鳥Ⅱ概要 www.asukacruise.co.jp

「飛鳥Ⅱ」は日本最大の客船で、約100日間にわたるワールドクルーズを実施するほか、アジア・オセアニア方面へのグランドクルーズ、日本の夏祭りを巡るクルーズ、1泊からのショートクルーズなど多岐にわたり展開。全室海側の客室、ゆったりとしたスペースや充実の設備、日本人乗船客の嗜好に合わせた多彩な食事やエンターテインメントが特徴。乗船客1人当たりのスペースや乗組員比率は、日本はもとより世界トップレベルで、世界のクルーズマーケットで愛される美しい船体に、和の心のおもてなしをのせて皆様をお迎えいたします。

船籍:日本 船籍港(母港):横浜港 総トン数:50,142トン 全長:241m

乗客数:872名 乗組員数:約470名 客室数:436室(全室海側)

郵船クルーズ株式会社(横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー47F)

代表取締役社長:服部浩

《本リリースに関するお問合せ先》 郵船クルーズ株式会社 担当:豊山・林

TEL:045-640-5226 FAX:045-640-5366 Mail: pr@asukacruise.co.jp

